

01. 概要

従来から、熱源容量・受電容量の低減、および夜間電力利用によるランニングコスト低減のために、水蓄熱槽が多く利用されてきました。水蓄熱槽には様々な形式があるとともに、使われ方も多種多様です。それらの中には、有効に機能していないものも数多く見られます。

当社では、既存の蓄熱槽の効率を改善するため、蓄熱槽の診断ならびに改良工事を行っており、各種建物で成果をあげています。

02. 特徴

- ① 既存蓄熱槽の診断を行い、効率を判定します。
- ② 効率の悪い従来型蓄熱槽も高効率型に改修できます。
- ③ 最適熱源運転システムを導入します。

03. 応用例

水蓄熱を行っている各種建物

04. 概念図

